



キリングループ

長野県東御清翔高等学校
長野県岩村田高等学校



研修後の記念写真

キリングループが取り組む生物多様性の保全を学ぶ!

2023年8月26日(土)、長野県東御清翔高等学校と長野県岩村田高等学校の2校の生徒が高校生企業環境研修に参加。キリングループのシャトー・メルシャン 梶子(まりこ)ヴィンヤード(上田市)を訪問し、企業の生物多様性保全の取組を学びました。

キリングループ メルシャン・梶子ヴィンヤード

キリングループのシャトー・メルシャン 梶子(まりこ)ヴィンヤード(長野県上田市)。東京ドーム約6個分の広大なブドウ畑で、自社管理により多様な生きものが生まれ、生物多様性の保全に貢献しています。

梶子ヴィンヤードでは希少種を含む多数の植物や昆虫が見つかっています。2014年から始めた農研機構との共同研究で、垣根式の草生栽培が広大な草原を創出、維持していることが解明されています。2016年からは従業員参加で希少種・在来種の再生活動を開始。秋に、ブドウ畑の中の生態系が豊かな場所の枯れ草を刈り取り、再生場所に撒くことで、1㎡の平均出現種数が倍になるなど植生の回復を実現させています。



また、梶子ヴィンヤードは、生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採択された新しい世界目標「30by30」の達成に向けた環境省の自然共生サイトに申請し、2023年10月6日に、農産物を生産する唯一の事例として正式認定を受けました。



研修内容 キリングループが取り組む生物多様性の保全を学ぶ!

高校生研修 絶滅危惧種 オオルリシジミの食草 ～クララの観察～

研修では、講師であるキリンホールディングスの藤原さん、農研機構・西日本農業研究センターの楠本さんから説明を受けながら、実際に植生回復を行っているフィールドを訪問。絶滅危惧種オオルリシジミの食草であるクララが植生再生活動で増えている様子を確認しました。研修中は高校生から講師へ積極的に質問する姿が見られ、身近な自然や生物多様性について、あらためて考える大変貴重な機会となりました。



研修の様子



講師 藤原啓一郎さん 講師 楠本良延さん



梶子ヴィンヤードのクララ

研修を終えて 高校生の感想 (抜粋)



長野県岩村田高等学校 荻原直杜さん
今回の研修で、生物の多様性を守るための活動について知ることができました。

最初は2m近い高さの雑草が生えた荒地が今では国内にわずかしかない草原を伴うブドウ畑に変わったことを知り、とても驚きました。また、様々な希少生物を保護する取り組みを行っているという話を聞き、こういった活動があることを多くの人に知ってもらおうことが必要だと感じました。



長野県東御清翔高等学校 平岡春佳さん
環境を守りながら産業を発展させることは、私はずっと困難だと思っていました。

しかし今回の研修で、工夫次第で、自然を守りながらワイン産業を発展させていくことができる、ということを知ることができました。簡単なことではないですが、企業や個人が「環境を守る」という意志を持ち、様々な取り組みをしながら過ごしていくことが未来を守るために大切だと思いました。



長野県東御清翔高等学校 三木咲良さん
ワインの生産だけでなく、ブドウの栽培をとおして様々な生物や植物を守り、産業と生物多様性が両立

されているのがすごいなと思いました。梶子ヴィンヤードだからこその自然や環境のほか、絶滅危惧種であるオオルリシジミをはじめとした希少種を守る取り組みや活動が、日本や世界にとって大切だと改めて感じました。今後は、地球環境のことを考えながら生活していきたいと思います。

キリングループは、ユースの環境活動を応援しています。

